

ダニ媒介感染症について（注意喚起）

令和5年（2023年）5月17日
長野県上田保健所

今年に入り県内のダニ媒介感染症発生状況は、「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」0件、「ダニ媒介脳炎」0件、「日本紅斑熱」0件、「ライム病」0件、「つつが虫病」が1件です。（令和5年5月7日現在）

ダニの活動が盛んな春から秋にかけては、ダニに咬まれる危険性が高まりますので屋外で作業を行う際は下記について留意いただきますようお願いいたします。

記

1 ダニに噛まれることで感染する疾患

「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」「ダニ媒介脳炎」「日本紅斑熱」「ライム病」などはマダニ類、「つつが虫病」はツツガムシ類にかまれることで感染します。

2 ダニにかまれないために

- (1) 草むらや藪などに入る際は、長袖・長ズボン・足を覆う靴等を着用し、肌の露出を少なくしましょう。また、服は明るい色のもの（ダニを目視で確認しやすい）がお勧めです。
- (2) ダニが生息している場所での作業後は、服にダニがついていないか確認しましょう。
- (3) 帰宅後は上着や作業着を家の中に持ち込まないようにしましょう。
- (4) シャワー時や入浴時に体にマダニがついていないか確認しましょう。

3 ダニにかまれた時の対応

- (1) ダニにかまれた直後は自覚症状がなく、気がつかないことが多いと言われています。皮膚に吸着しているダニに気がついたら無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科または外科）を受診しましょう。
- (2) ダニにかまれてからしばらく（数日～数週間）して発熱、関節痛、頭痛など全身症状がみられたら医療機関を受診し、いつ、どこをかまれたか、どこの山へ行ったか（旅行先など）を医師に教えてください。

4 啓発資料について

- (1) 厚生労働省作成の蚊媒介感染症及びダニ媒介感染症ポスター・リーフレット
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>
- (2) 長野県ホームページ ダニ媒介感染症
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kansensho-taisaku/kenko/kenko/kansensho/joho/dani.html>

長野県上田保健所 健康づくり支援課
（課長）松山 久美子 （担当）山口 蓮
電 話 0268-25-7154(直通)
ファクシミリ 0268-23-1973
電子メール uedaho-kenko@pref.nagano.lg.jp